

なるほど! ザ・ファンド

Q & A

Vol.238

Q.

なぜ外貨建て資産を持つことが大切なの？ ②

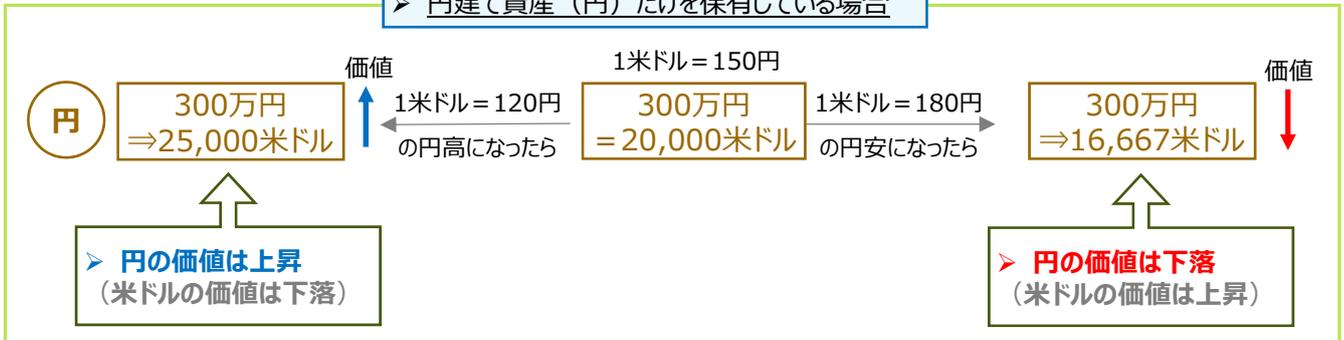
A.

為替変動による実質的な価値の目減りから資産を守り、資産の評価額を安定化させるためにも、円建て資産と外貨建て資産の両方の資産を保有することが大切です。

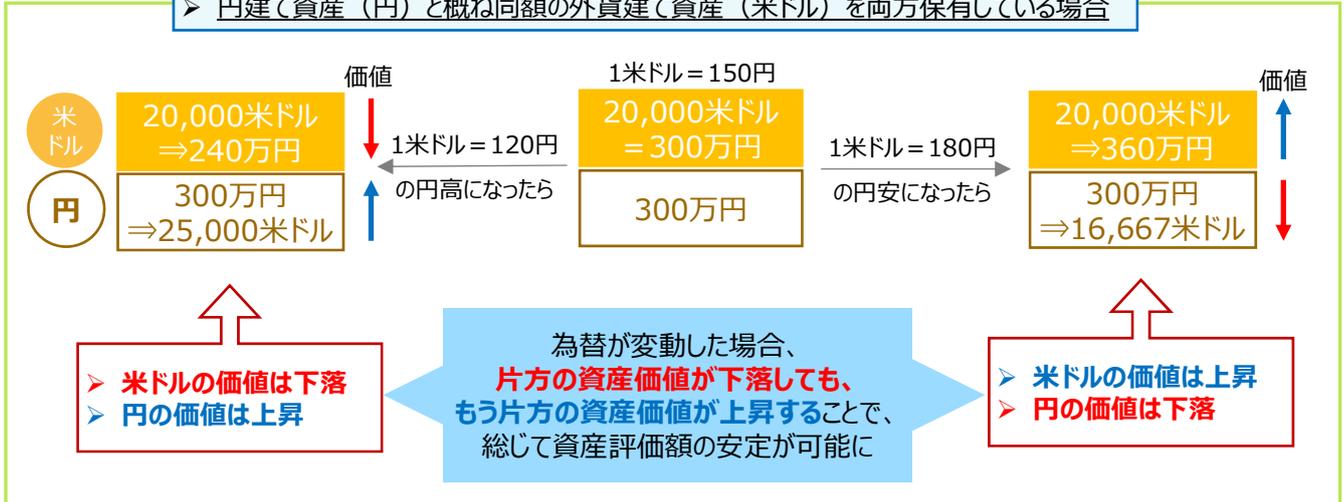
- ◆ なるほど！ザ・ファンドVol.237で取り上げたように、多くの輸入品に頼る日本では、円安が進んで輸入物価が上昇した場合、国内物価に上昇圧力がかかることで、資産価値の実質的な目減りが懸念されます。**円建て資産だけでなく外貨建て資産も保有すれば**、円安によって外貨建て資産の円換算の資産価値が増加するため、実質的な価値の目減りから資産を守ることができます。
- ◆ 円建てと外貨建ての両方の資産を保有すると、**円高・円安いずれの局面でも、それぞれの実質的な資産価値がプラス/マイナスに変動する**ため、総じて資産の評価額を安定させることが可能と考えられます。

円建て資産（円）と外貨建て資産（米ドル）の保有と為替変動のイメージ

➤ 円建て資産（円）だけを保有している場合



➤ 円建て資産（円）と概ね同額の外貨建て資産（米ドル）を両方保有している場合



※上記は一定の前提条件に基づき、過去のデータを用いてシミュレーションを行ったものであり、実際の投資成果ではありません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものでもありません。※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の各商品の説明書等を必ずご覧ください。



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会